

# 学級活動 《第2学年》年間指導計画

担当（ 飯田修平 ）

## 特別活動 目標

望ましい集団活動を通じて、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

## 〔学級活動 目標〕

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

## 〔生徒会活動〕

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

## 〔学校行事〕

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

月	議題名・題材名	ね ら い	活 動 内 容	指導・助言、資料
4	中学2年生としての自覚をもつ 学年目標、学級目標 個人目標  自己紹介 学級組織作り	新たな気持ちで意欲的に取り組む態度を身に付ける。  何事にも集中して真剣に取り組む。  集団の中で自分の役割を理解する。	作文「中学2年生になって」 学年目標、学級目標を決める。 個人の学習・生活目標をたてる。  自己紹介、班編成、生活班目標、給食・清掃など当番活動の確認 委員会・教科係など組織作りをする。	失敗を恐れず、前向きに取り組む姿勢や態度を育てる。  互いを知ろうとする雰囲気をつくり、新しい学級、新しい仲間と建設的な行動ができるようにコミュニケーションを図る。
	学校生活のきまり	学校生活の決まりを再確認する。	学年全体で、生活のきまりについて確認し合うことで共通理解を深める。	具体的な事例をあげながら考える。
	授業に対する姿勢と学習習慣の定着  安全指導	自分にあう学習方法を模索する。  非常時の安全確保について理解する。	一つ一つの授業を大切に取り組む。  避難経路と行動の仕方を確認する	自分の課題を見つめ、毎日の家庭学習の習慣を定着させる。  真剣な気持ちや態度で行なうよう助言する。
5	生徒総会議案書審議  体育祭にむけて	生徒会活動へ積極的に参加する意識を持つ。	議案書を基に意見や質問を出し、クラスの意見をまとめる。	進行は学級委員・各委員によって行う
		体育祭に向けて意識をもつ。各競技や練習の取り組み、係の仕事について理解し、集団の中での役割を意識し、協力体制を確立する	スローガンへの意見をだしあう。練習予定や学年種目、係の仕事について確認する。	実行委員を中心に年全體の意識を高める。 各個人の取り組みを通して、学級・学年・学校としてのまとまりをつくる
	中間考査にむけて	学習計画、実行について振り返る。	学習について計画と実行を記入させ、各自振り返りを行う。	今後の学習に生かすよう助言し、学習意欲を高める

6	体育祭を振り返って 期末考査にむけて	集団生活を有意義に送ろうとする意識をもつ これまでの学習をふりかえり、学習計画を見直す	作文「体育祭を終えて」 考査にむけた学習の進め方	自己の取り組みとともに協力できたか考えさせる。 自分に合った学習方法を確立し、継続できるよう指導する。
7	1学期の反省 (個人・クラス・学年)  職場体験学習	個人およびクラスの1学期の生活について振り替える  働くことの大切さ、大変さ、楽しさを味わう。	個人目標やクラス目標をもとに1学期の反省をする 学級委員が中心となってクラス全体の反省を行い、反省をまとめて学年集会で発表し合う。 自分で交渉し決めた職を責任をもって最後まで体験させていただく。	各自振り返り、1学期の反省をさせ、2学期に繋げる。  「体験させていただく」という謙虚な気持ちで臨むよう助言する。
8	職場体験学習での感謝の気持ちを「貢献」できるもの(形)にする。	自らの進路について、具体的に考える姿勢を養う。	お世話になった職場体験先への感謝の気持ちを夏季休業中に形にする。	それぞれの職場体験先の特性に合わせて「貢献」できるようなものは何か共に考え、助言する。
9	夏休みをふりかえって 2学期の抱負  合唱コンクール分担決め  職場体験学習のまとめ	夏休みの生活を振り返り、目標をもって2学期をスタートする。  集団の中での自分の役割を意識する。  職場体験のまとめを行う。	夏休みのしおりを完成する 2学期の目標を記入し、掲示する。  指揮者、パートリーダー等決める。  体験先へ形にしたものと冊子を持参し、感謝の気持ちを伝える。(お礼)	新たな気持ちで新学期を迎えるようにする。  協力体制がはかれるよう、助言する。  最後まで失礼のないよう指導する。
10	後期の学級組織づくり  合唱コンクールにむけて	集団の中での各自の役割を意識する。  集団の団結力を高める。	後期委員会・教科係・学級の係決め  合唱練習の工夫、合唱について意見を出しながら自分たちで活動を考えて取り組む。	人間関係を配慮しながら、組織作りをする。  お互いが関わり合って、練習していく雰囲気を作れるよう、助言する。
11	クラスの問題点  期末考査にむけて  「食育」	クラスの長所・短所を検討し、より有意義な生活を送れるようにする  これまでの学習を振り返り、より充実した学習を考えさせる  誰からも喜ばれるバランスのよい彩のあるおいしい給食献立を考える	クラスの長所・短所をあげ、どのような対策ができるのかを話し合う。  これまでの学習の進め方を見直し、自分にあった計画をたてる。  バランスの良い食について講話を聞く。給食献立のできるまで。	学習・生活両面から考えさせる。  仲間の学習方法の工夫点などを具体的に紹介したりする。  グループ活動であるが、全員に考えさせ、作業を行わせる。

12	期末考査の反省  2学期の反省 (個人・クラス・学年)	これまでの学習姿勢を検討し、冬休みを含めた学習計画を考える。  個人及びクラスの2学期の生活について振りかえる。	これまでの学習を見直し、今後の計画をたてる  個人目標やクラス目標をもとに2学期の反省をする。学級委員を中心に各クラスの反省をまとめて発表する	先の見通しをもてるよう助言する。  2学期の反省をし、しっかりと3学期に繋げる。
1	冬休みをふりかえって3学期の抱負  スキー移動教室に向けて	冬休みの生活を振り返り、3学期がスタートできるようにする。  活動のあり方、規律を学ぶ。	冬休みのしおりを完成する。 3学期の目標を記入し、掲示する。  適切な行動計画を立案する。	新たな気持ちで新学期を迎えるように助言する。  みんなが楽しいと思える集団生活について考えさせる。
2	移動教室を振り返って  学年末考査にむけて	活動のあり方、規律を学ぶ。  1年間のまとめとして、より充実した学習を考える。	行動計画を見直し、改善点を見つける。  自分の学習課題を見つける。	公衆マナーや集団のルールを守ることの大切さを指導する。  計画の立て方を工夫させる。
3	卒業式にむけて  3学期の反省 (個人・クラス・学年)	上級生の取り組みから、杉森中をどのようにより良くするための方策を考え最上級生になる自覚をもつ。  個人およびクラスの3学期の生活について振りかえる。	卒業生にむけてのメッセージや、最上級生となるために自分に何が必要かを考える。  個人目標やクラス目標をもとに3学期の反省を行う。	丁寧に心を込めて贈ることばを書かせる。  3学期の反省をさせ、1年間のまとめをさせる。